

＜様式2＞  
2023年3月30日

公益財団法人 JKA  
会長 笹部 俊雄 殿

京都府自転車競技連盟  
会長代行 武田 哲二  
(公印省略)

自転車普及事業の事業完了報告書

下記のとおり報告致します。

記

1. 助成事業者名	京都府自転車競技連盟
2. 助成事業名	自転車競技の普及に関する事業
3. 助成金額	1,300,000円
4. 事業実施日	別紙報告書の通り
5. 連絡先	
6. 添付書類	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業の実施内容及び成果に関する報告書＜様式3＞</li><li>・自己評価書＜様式4＞</li><li>・収支決算書</li><li>・領収書等の証拠書類（コピー可）</li></ul>

以上

事業の実施内容及び成果に関する報告書

1. 事業名

自転車競技の普及に関する事業

2. 事業の実施経過

(1) 事務手続き関係

2022年2月24日 申請書提出

2022年3月28日 決定通知書受理

2022年4月1日～2023年3月26日の間

合計40回 実施報告書のとおりクラブの練習を実施

合計 1回 実施報告書のとおり発掘イベントを実施

合計 2回 実施報告書のとおり教室・講習会を実施

2022年7月12日

概算助成金の申請書提出(975,000円)

2022年7月28日

概算助成金の受領決定(975,000円)

2022年8月25日

概算助成金の受領(975,000円)

2023年3月30日 事業完了報告書提出

(2) 事務関係

2022年 8月20日 タイヤを購入

2022年 9月16日 サイクルスタンドを購入

2022年 9月30日 マウンテンバイクを購入

2022年10月20日 タイヤを購入

2022年11月15日 ホイルを購入

2023年 1月20日 タイヤを購入

3. 事業実施内容及び成果

(1) 実施内容

① 京都向陽サイクルスポーツクラブの支援

1年を通じて小・中・高校生たちが継続して自転車競技に親しむ機会としてトラックは京都向日町競輪場、ロードは京都市右京区京北町や京都府南丹市、マウンテンバイクは京都市右京区京北町を会場に実施した。また、全くの初心者でも参加できるよ

うに本クラブの所有する自転車(トラックレーサー・ロードレーサー・マウンテンバイク)をレンタルしてより参加しやすい環境をつくるなど自転車競技の普及に努めた。

#### ②発掘イベント・教室・講習会の実施

広く自転車競技の楽しさを啓発するために、ロードレースやマウンテンバイク・シクロクロス競技で日本代表選手としても活躍した竹ノ内悠さん(フリー)を講師に招いて講演会と実技講習会を実施した。

#### ③教室・講習会の実施

自転車競技の入門として昨年からはじめました子供達を対象とするマウンテンバイクのトレーニングを行いました。まずは楽しみながら自然豊かな山の中で自転車に乗り、自転車の基本的な取り扱いを身に着け、そこから将来トラック・ロード・MTBなどの競技に繋げることを目的に実施した。

## (2) 成果

#### ①京都向陽サイクルスポーツクラブの支援

1年を通じて継続して自転車競技を年齢やレベルに応じた指導を行いました、このような楽しく練習できる環境のあるスポーツクラブが近隣に少ないこともあり、当クラブの会員数は年々増加している。今年度は小学生34名(昨年度24名)、中学生23名(昨年度20名)、高校生(自転車競技部に所属していない生徒)3名(昨年度2名)の合計60名となり昨年度の46名から14名増加し過去最高となり毎年増加の傾向が続いています。さらに今年度在籍していた中学3年生13名中8名が自転車競技部のある高校に進学し競技を続けることになりました。この傾向も顕著になってきました。これらの正式な会員以外でも体験を希望して練習会に訪れる児童・生徒もあり、今後も継続して実施することで会員数はさらに増加してゆくものと確信します。また今年度は、本クラブの中学生がジュニア全日本自転車競技選手権大会ロードレースU17クラスで第3位に入賞し活躍するなどこれまで指導を継続して行ってきた育成の成果と考えられます。今後も継続して各方面で活躍する選手の育成に努めていきたいと考えています。

#### ②発掘イベント・教室・講習会の実施

日本代表選手の経験もある竹ノ内悠さん(フリー)には定期的な全くの初心者である小中学生に対して丁寧な指導をしていただき参加した子供達からも楽しかったなどの感想をいただき保

護者の皆様からも好評なイベントです。今年度はこれを機会に京都向陽サイクルスポーツクラブへ加入者する小学生が大幅に増加するなど普及効果もあり今後もこのイベント等を継続して実施したいと考えています。

### ③教室・講習会の実施

昨年度から始めましたマウンテンバイク教室は、特に小学生についてはトラック競技やロード競技を始める前にまずは自転車を楽しく乗ることを知ってもらう機会としては最適と考えます。またマウンテンバイクに乗ることで自転車の取り扱いを身に着けバランス感覚などを養うことができると考えています。今年度は小学生を中心に参加者が多く新たに参加した小学生は皆さん本クラブの新たな会員になるなど成果が上がっています。そしてこれらの子供たちが将来トラック競技やロード競技などで活躍する選手に繋がり競技の普及に繋がれば良いと考えています。

## 4. 業界等において今後予想される効果

### (1) 具体的に記入

現在、中学校には自転車競技部がほとんど無く、今後も増えることはありません。むしろ昨今の部活動を地域のスポーツクラブに委託する政策がスポーツ庁を中心に進められており1年を継続して自転車競技を指導している本クラブの存在意義が今後ますます高まって来ると考えられます。そんな事情もあり京都向陽サイクルスポーツクラブの活動を通じて京都や近畿、それ以外の地域からも来られる小中学生の受け皿としての役割も重要になってきます。自転車競技界全体が発展するためには小学生からの底辺拡大が必要で、私達の取り組みには少子化が進んでいる中でも小学生の会員が今年度も10名増加し中学生も3名増加するという効果が表れています。マウンテンバイクの練習では本当に楽しく自転車に乗る子供達が増えており環境を整えることで子供達への普及が進み自転車の基礎を身に着けることに役立っていると考えられます。競輪場の練習では特に中学生が高校生と一緒に周回練習をするなどトラック競技の基礎を既に身につけ将来の自転車競技選手へ繋げる姿勢が見られます。その成果として中学3年生の多くが自転車競技部のある高校に進学をしました。ロード練習でも同じことが言えます。今後、彼らの成長が楽しみであるとともにこれらの小中学生が必ず自転車競技の競技力向上に貢献してくれるものと確信しています。そのような意味からも本クラブが様々な事業を行うことで、さらなる会員の増加、すな

わち自転車競技者層の拡大に貢献できると考えています。このように低年齢層のその成長に応じた指導が、最終的には優秀なアスリートを輩出する基となると考えられ、今後もこの普及事業を継続して行い、自転車競技の発展に努めたいと考えています。

## 2022年度自転車競技普及事業 実施報告書

### 1. 京都向陽サイクルスポーツクラブの活動

回数	実施日	種 目	会 場	参加者数		
				小学生	中学生	指導者
1	4/16 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	3	3	3
2	4/24 (日)	トラック練習会	京都向日町競輪場	3	4	3
3	5/14 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	2	3	3
4	5/15 (日)	トラック練習会	京都向日町競輪場	3	3	3
5	5/21 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	2	4	3
6	5/28 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	3	3	3
7	6/4 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	4	4	3
8	6/5 (日)	トラック練習会	京都向日町競輪場	4	4	3
9	7/3 (日)	トラック練習会	京都向日町競輪場	2	3	3
10	7/16 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	2	3	3
11	7/17 (日)	トラック練習会	京都向日町競輪場	2	4	3
12	7/18 (月)	トラック練習会	京都向日町競輪場	3	4	3
13	7/23 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	3	3	3
14	7/25 (月)	トラック練習会	京都向日町競輪場	2	4	3
15	7/26 (火)	トラック練習会	京都向日町競輪場	3	3	3
16	8/20 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	2	2	3
17	9/10 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	2	3	3
18	9/11 (日)	トラック練習会	京都向日町競輪場	2	3	3
19	10/15 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	3	4	3
20	10/22 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	4	5	3
21	11/5 (土)	ロード練習会	京都市京北町	0	5	3
22	11/6 (日)	ロード練習会	京都市京北町	0	5	3
23	11/19 (土)	ロード練習会	京都市京北町	0	4	3
24	11/20 (日)	ロード練習会	京都市京北町	0	4	3
25	11/26 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	4	5	3
26	11/27 (日)	ロード練習会	京都市京北町	0	4	3
27	12/24 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	3	5	3
28	12/25 (日)	トラック練習会	京都向日町競輪場	3	5	3
29	1/8 (日)	ロード練習会	南丹市八木町	0	4	3
30	1/15 (日)	トラック練習会	京都向日町競輪場	3	5	3
31	1/22 (日)	ロード練習会	南丹市八木町	0	4	3
32	1/29 (日)	ロード練習会	南丹市八木町	0	3	3
33	2/5 (日)	ロード練習会	南丹市八木町	0	4	3
34	2/18 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	4	6	3

回数	実施日	種 目	会 場	参加者数		
				小学生	中学生	指導者
35	2 / 23 (木)	ロード練習会	京都市京北町	0	4	3
36	3 / 5 (日)	トラック練習会	京都向日町競輪場	4	5	3
37	3 / 18 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	3	5	3
38	3 / 19 (日)	トラック練習会	京都向日町競輪場	3	6	3
39	3 / 25 (土)	トラック練習会	京都向日町競輪場	4	5	3
40	3 / 26 (日)	トラック練習会	京都向日町競輪場	2	2	3

## 2. 発掘イベント教室・講習会の開催

	日程	講 師	参加者数	大会名
		会 場		
1	2月 19日	竹之内 悠	小・中・高校生 43名	スポーツディスカバリー 推進事業
		京都向日町競輪場		

## 3. 教室・講習会の開催

	日程	講 師	参加者数	講習会名
		会 場		
1	4月 17日	竹之内 悠	小・中学校生 10名	第1回マウンテンバイク講習会
		合併記念の森		
2	5月 29日	竹之内 悠	小・中学校生 4名	第2回マウンテンバイク講習会
		合併記念の森		
3	10月 10日	竹之内 悠	小・中学校生 5名	第3回マウンテンバイク講習会
		合併記念の森		

## 自己評価書

### 1. 自己評価

#### ① 実施計画

##### (1) 京都向陽サイクルスポーツクラブの活動

- ・トラック競技は、京都向日町競輪場の本場開催がない土・日を中心に13:00から16:30まで年間30回実施。参加者は小学生・中学生・高校生（自転車競技部に所属していない者）
- ・ロード競技は、日・祝日を中心に京都市右京区京北町や京都府南丹市で9:00から15:00まで年間10回実施。参加者は中学生・高校生（自転車競技部に所属していない者）

##### (2) 発掘イベント・教室・講習会の実施

年1回、京都向日町競輪場で講演会と実技講習会を実施

##### (3) 教室・講習会の実施

年3回、合併記念の森でマウンテンバイク講習会を実施

#### ② 事業の実施結果

京都向陽サイクルスポーツのトラック競技開催回数については、京都向日町競輪場の本場開催や競輪場で開催されるイベントなどとの調整を早くから行いました。今年度も新型コロナウイルスの影響を受けましたが日程変更等について関係者のご理解をいただき最終的には全て実施することが出来ました。各事業で自転車を所有していない参加者には本クラブ所有の自転車（トラックレーサー・ロードレーサー・マウンテンバイク）をレンタルするなど無理なく参加できるようにした。発掘イベント・教室・講習会は年1回、日本代表経験もある講師を招いて実施できました。マウンテンバイク講習会は年3回、マウンテンバイクで活躍する選手を招いて実施しました。

#### ③ 事業の成果

全くの初心者から行う自転車競技の普及に関する事業として取り入れたマウンテンバイク講習会はその目的を十分に果たすことができたと考えます。小・中学生の会員数の増加や参加者が自転車競技を楽しむ姿からは保護者の方々からクラブに対して高評価をいただいています。



#### ④ 自己評価

各年代に応じた機材を整備し、初心者からそのレベルに応じた自転車競技の指導が年間を通じて行うことができ競技の普及と底辺の拡大に寄与したと考えます。

#### ⑤ 実施計画を踏まえた、事業全体についての意見・所感

事業内容としては今年度も成功であったと自己評価します。やはり地域に根差したサイクルスポーツクラブができないとさらなる普及・拡大は見込めないと考え、今後は中学校の部活動の受け皿として本クラブのようなサイクルスポーツクラブが必要とされるようになり、今後の自転車競技普及のありかたの見本となるようなクラブとして整備していきたいと考えます。

#### ⑥ 実施計画において明記された効果測定の結果

##### (1) 京都向陽サイクルスポーツクラブの活動

昨年度より会員数をより増やすことを目標値としていましたが、小学生は10名増えて34名、中学生は3名増えて23名、高校生（自転車競技部に所属していない生徒）は1名増えて3名となり全体では14名増加して過去最高の60名となり毎年過去最高を更新する目標は達成している。

##### (2) 発掘イベント・教室・講習会の実施

今年度も新型コロナウイルスの影響もありましたが何とか実施することが出来ました。また参加者も例年以上の参加があり新たな参加者の皆さんが本クラブに加入を希望し小学生の会員が10名増加するなど当初の目標は達成している。

##### (3) 教室・講習会の実施

昨年度から始めたマウンテンバイク講習会では、専用のトレーニングフィールドの整備や練習コースも全日本選手権で活躍した講師の方に協力を得てコースレイアウトをしていただき、それに従ってコース整備も昨年度より進みました。このコースを使用して講習会を3回実施し十分な成果がありました。今後も継続した指導を進めるうえで必要なものとして今年度も目標を達成したと言える。

⑦ 優れている点・課題・改善すべき点

本クラブは、京都向日町競輪場管理棟に20インチから27インチまでのトラックレーサーやロードレーサーを所有しヘルメットも用意しています。昨年度からはマウンテンバイクも導入しました。近年、競技用自転車の価格が高騰し若年層の児童・生徒が自転車競技を始めることが難しくなりつつあると思います。そんな中、本クラブの会員は自転車を持っていなくてもシューズとペダルだけを用意し運動ができる服装で来て練習に参加することができます。また成長期の児童が成長にあわせて高額な自転車を買替える必要もなく保護者の経済負担を減らすことができます。このようにどのような児童・生徒であっても参加しやすいクラブは他にはないと考えます。小学生から一貫して指導する取組みも軌道に乗り、その成果が中学生や小学生の全国大会入賞に表れていると考えられます。今後も誰でも自転車競技を始める環境を整備してこれらの事業を進めていく必要があると考えています。

⑧ 総合評価点

10点満点中8点

# 活動記録シート(報告用)

## 【自転車競技普及事業】

### スポーツディスカバリー推進事業



2月19日 講演会の様子



2月19日 実技講習の様子



2月19日 周回練習の様子



2月19日 実技講習の様子

# 活動記録シート(報告用)

## 【自転車競技普及事業】

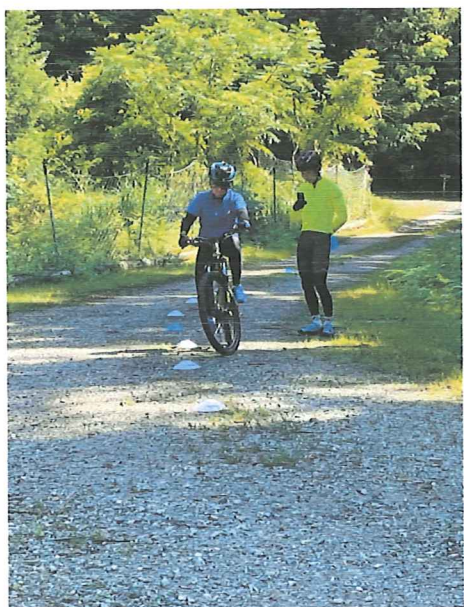
### 教室・講習会の開催



4月17日 MTB講習会の様子



4月17日 MTB講習会の様子



5月29日 MTB講習会の様子

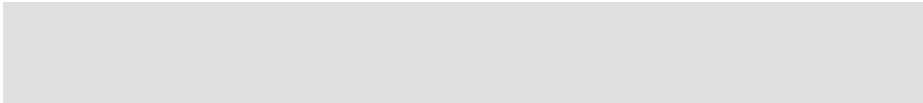


10月10日 MTB講習会の様子

# 2022年第3回マウンテンバイク練習会

## 実施要項



- 1 期 日 2022年10月10日(月・祝)
- 2 会 場 「合併記念の森」特設コース(京都市右京区京北町)
- 3 コーチ 竹之内 悠(フリー)
- 4 対 象 小学生、中学生の初心者から経験者まで
- 5 日 程 10月10日(月) 8:30 北桑田高校 集合  
マウンテンバイクの貸出し  
合併記念の森に移動  
9:00～ マウンテンバイク・トレーニング開始  
12:00頃 マウンテンバイク・トレーニング終了  
13:00頃 北桑田高校 解散
- 6 参加費 1,000円/1人(会場使用料として)
- 7 申込み 参加希望者は事前に坂井田までご連絡ください。
- 8 連絡先 
- 9 その他
  - \*参加については保護者同伴をお願いします。
  - \*マウンテンバイクとヘルメットの貸出しができますが台数に限りがありますのでご了解ください。貸出し用マウンテンバイクのサイズは24インチと26インチです。
  - \*ご持参の機材は各自で十分に整備して参加してください。
  - \*当日は天候によりスケジュールが変更になることがあります。
  - \*「合併記念の森」の中には自動販売機などはありません。飲料等は持参してください。また、自然豊かな場所ですのでゴミは持ち帰るようにしてください。

2022年第3回マウンテンバイク練習会参加者名簿

実施日 【 2022年10月10日 】

会 場 【 合併記念の森 】

No.	名 前	性別	年 齢 または 学 年	備 考	参加料
1		男	中学1年		
2		男	小学6年		
3		女	小学4年		
4		男	小学3年		
5		男	小学2年		
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					

## 2022年度自転車競技普及事業 収支決算書

連絡先: 京都府自転車競技連盟

記載者: 坂井田 米治

<収入の部>

科 目	金 額	内 容
助 成 金	1,300,000円	事業費の内の保険料、会場費以外について
助 成 金	円	
団体負担金	421,890円	会費 360,000円(6,000円×60名) 京都府自転車競技連盟 61,890円
そ の 他	19,000円	マウンテンバイク講習会 参加費(第1回)1,000円×10名=10,000円 参加費(第2回)1,000円×4名=4,000円 参加費(第3回)1,000円×5名=5,000円
合 計	1,740,890円	

<支出の部>

経費区分	経費の種類	金 額	摘 要
旅費	交通費	134,000円	
	宿泊費	円	
事業費	謝金	820,000円	
	運送料	円	
	会議費	円	
	保険料	円	
	製作備品費	371,890円	
	印刷費	円	
	消耗品費	415,000円	
合 計		1,740,890円	

経費明細書

経費区分	経費の種類	金額	①京都向陽サイクルスポーツクラブの活動支援	②発掘イベントの開催	③教室・講習会の開催
旅費	交通費	134,000	指導者旅費 単価 × 人数 × 日数 1,000 × 3 × 40  120,000	講師旅費 単価 × 人数 × 日数 2,000 × 1 × 1  2,000	講師旅費 単価 × 人数 × 日数 4,000 × 1 × 3  12,000
	宿泊費	0	単価 × 人数 × 泊数 × × 0	単価 × 人数 × 泊数 × × 0	単価 × 人数 × 泊数 × × 0
事業費	謝金	820,000	指導者日当 単価 × 人数 × 日数 5,000 × 3 × 40  600,000	講師謝金 単価 × 人数 × 日数 70,000 × 1 × 1  70,000	講師謝金 単価 × 人数 × 日数 50,000 × 1 × 3  150,000
	運送料	0	単価 × 数量 × (内容)  0	単価 × 数量 × (内容)  0	単価 × 数量 × (内容)  0
	会場費	0	単価 × 回数 × (内容)  0	単価 × 回数 × (内容)  0	単価 × 回数 × (内容)  0
	保険料	0	単価 × 人数 × × 指導者 単価 × 人数 × × 高校生 単価 × 人数 × × 小・中生 (内容) スポーツ安全保険  0	単価 × 人数 × 日数 × × (内容) イベント保険  0	単価 × 人数 × 日数 × × (内容) イベント保険  0
	製作備品費	371,890	単価 × 数量 50,000 × 6 (品目) 子供用マウンテンバイク  14,378 × 5 (品目) サイクルラック  × (品目)  × (品目)  371,890	単価 × 数量 × 日数 × × (品目)  × (品目)  × (品目)  × (品目)  0	単価 × 数量 × (品目)  × (品目)  × (品目)  × (品目)  0
	印刷費	0	単価 × 数量 × (内容) 広報チラシ  0	単価 × 数量 × (内容)  0	単価 × 数量 × (内容)  0
	消耗品費	415,000	単価 × 数量 3,000 × 40 (品目) タイヤ  20,000 × 8 (品目) 予備車輪  280,000	単価 × 数量 3,000 × 25 (品目) タイヤ  × (品目)  75,000	単価 × 数量 3,000 × 20 (品目) タイヤ  × (品目) 予備車輪  60,000
合計	1,740,890	1,371,890	147,000	222,000	